

編集後記

随分以前のことになるが、まだゲレンデにそれほどスノーボーダーが姿を見せていなかった頃、スキーをしていて彼らスノーボーダーの動線が読めず、何度かニアミスの経験がある。翻って、現在の大学のキャンパス、しばしば学生と衝突しそうになる。意見の対立ではない。歩いていてぶつかりそうになるのである。周囲を全く意識していないかのような彼らの歩き方は、かつてのスノーボーダーの滑りを思い出させる。

弘前の消費者金融放火殺人事件、その後の模倣犯の連続、大阪教育大学附属池田小学校での惨事、そしてその後のナイフ切りつけ事件の続発、虐待による幼児死亡のニュースも後を絶たない。目的のためなら手段を選ばない、子供たちを標的にしてしまう歪んだ社会が息苦しい。

地球温暖化防止を目指す京都議定書は、アメリカのブッシュ政権のイチヌケタで先行きが読めない。何のための温暖化防止か。子供たちの、孫たちの環境をこれ以上悪化させないために、とにかく早急に始めなくてはならないはずである。2001年の後半はどんな展開になるのか。スキーヤーは隅に追いやられたままなのか。

(2001年7月 古井)